

パーソナルファイナンス学会

JAPF News No.39 2017. 8.31

会員名簿送付のご案内

平素より、学会活動にご支援、ご協力いただきありがとうございます。さて、春ごろより「会則・会員名簿」の改訂作業を進めてまいりましたが、このたび発行がなされましたので送付いたします。会員各位には、発行までにご協力いただき、ありがとうございました。

なお、名簿は会員相互の学術的交流以外には利用されませんようご注意ください。

教育部会開催のお知らせ

日時：2017年9月7日（木）18:30～19:50
会場：早稲田大学 26号館（大隈記念タワー）302
（所在地：東京都新宿区西早稲田 1-6-1）

報告 築田 優（和歌山大学経済学部准教授）

「我が国 NISA と英国 ISA
—制度設計と金融教育の比較を通じ両制度
の現在と未来を考える—」

司会 春井久志（中央銀行研究所代表、日本証券
経済研究所客員研究員）

概要

わが国で少額投資非課税制度（通称 NISA）が導入されてから、現在までに 3 年半以上が経過した。NISA は、日本国内居住者の資産形成の推進を主たる目的に導入された制度で、周知のように英国の個人貯蓄口座制度（通称 ISA）を手本としたものである。日本では、NISA 導入前後から官民挙げて施策が講じられており、またその原動力となる金融教育にも力が注がれている。

ところが関連統計資料から見ると、NISA は（発足から 3 年半という点を考慮しても）ISA のような広がりを見せておらず、これを軸とした個人の金融資産形成も英国に

比べ遅々としている。このような相違の原因はどこにあるのだろうか。制度設計の問題なのか、金融機関の問題なのか、または利用者の金融リテラシーの問題なのか。

本報告ではこの点を明らかにするため、まず NISA と ISA の制度設計を比較し、制度面から普及度合の相違を検討する。その後、金融機関の取組み状況や、金融教育システムの比較などからも問題に迫って行く。

第 18 回全国大会開催情報

2017 年 11 月 11 日（土）～12 日（日）
報告会場：富山国際会議場・富山大学経済学部
懇親会会場：ANA クラウンプラザホテル富山

統一論題

フィンテック革命がパーソナルファイナンスを変えるか
狭義のフィンテックではなく、IoT や AI が進展する中でパーソナルファイナンスへの影響を考察します。

研究報告募集を延長！

統一論題部門 自由論題部門
応募票を WEB サイトからダウンロードの上、報告要旨（4 枚以内）とあわせてリエゾンオフィスまでメールにてお送りください。japf@ibi-japan.co.jp

締切 2017 年 9 月 19 日（火）

新会員紹介 2017.5.21～7.28

鬼崎泰至 （株）フィンテック・スタイル代表取締役
海老根智仁 デジタルハリウッド大学院教授

個人会員数：164 名、賛助会員 3 社

* JAPF News は記事中すべて敬称略としております。

JAPF News 第 39 号

発行日：2017.8.31

発行：パーソナルファイナンス学会

監修：国際交流・広報委員長

山本崇雄（神奈川大学）

編集：リエゾンオフィス

【業務受託】（株）国際ビジネス研究センター

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518

司ビル 3F ☎ 03-5273-0473